2024 年　1　月度　中部品質工学研究会　議事録

1．　開催日時　　2024/1/13 (土) 10:00～16:00

2．　開催場所　　(有)アイテックインターナショナル

3．　会員参加者<敬称略>　S：オンサイト出席・L：オンライン出席、欠：欠席、書：書記、休：休会

大見	S	牧野	S	横尾	S	城越	S	合田	書	伊藤	S	舟山	S	出島	L
福田	S	水田	L	山中	L	山口(展)	S	黒田	L	鈴木	S	池田		山口(直)	S
北村専務	L														
小西	休	中山	休	李	休	河合	休	則尾	休	杉浦	休	三浦	休		

4．　研究会内容

1）「輪講　中野恵司先生　最新タグチメソッド 第8章」(黒田さん)

「最新タグチメソッド第8章　機能性評価」について解説した。
機能性評価におけるSN比の定義式など参考になる部分が多かった。
また、田口のSN比とエネルギー型SN比の違いなども取り上げ議論した。

2）「オーガナイズドセッション発表内容確認」

セッションタイトル「品質工学とＡＩで業務改革にトライ！」 に決定。

発表内容

①「MT法による自動搬送装置の故障予兆検知」（黒田さん）
物流倉庫の自動搬送装置において部品故障による突発停止を予防するために、MT法を用いた故障予兆検知を行った。

②「形態素解析と誤圧法を用いた特許選別システムの構築」（前田さん）
特許調査業務の効率化のために、形態素解析と誤圧法を組み合わせた特許選別システムを構築した。

③「機械学習モデルを用いたグリッドサーチ機能性評価によるロバスト最適解探索」（山中さん）
機械学習の予測モデルを利用して、直交表組実験ではなく要因配置実験でのパラメータ設計を行った。

④「重回帰分析とMT法を用いたカムシャフト研削工程管理」（山口(展)さん）
製造データを有効活用するべく,以下2件を実施した。
1.重回帰分析を用いての破壊検査の廃止。
2.MT法による工程監視システムの構築」

3）「事務局連絡」

・研究会の会計報告(中間報告)があった。
・幹事の合田が3月で退会するため、新幹事を募ったところ、山中さんが快く引き受けて下さった。

以上